

広報 いまり

昭和56年3月1日創刊 毎月1日発行 定価1部24円 昭和56年1月1日 伊万里市役所総務部秘書課発行 No.323

おめでとうございます

1981年。それは、はばたく年、です。
新しく生まれ変わるふるさと、そこには
明日へ躍動する伊万里の姿があります。

月

謹 賀 新 年

市民の皆さん、あけましておめでとございませう。

昨年は八〇年代の幕あけて「地方の時代」という掛声に大いに期待いたしました。世界の情勢は刻一刻不安の度を加え、国内においても政権は安定したといわれながら政策は軒並にダウンして安定を欠き、それどころか地方に

とってはローカル線の廃止、補助や公共事業の削減など窮地に追い込まれる問題が起こり、それ

らをいかにして防ぎ止めるかの防戦の一年に終わりました。私は「地方の時代」とは外に期待することではなく、地方自身がみずから意識して立上ること、従って今年

はわが郷土伊万里をあらためて広く深く見つめ直し、そこから特色のある真によいものを



郷土を見つめ直し

伊万里市浮揚の年に

伊万里市長

竹内通教

発見して「手づくりのふるさと」をつくりあげねばならないと思ひます。

それには私共のこれまでの観念の転換をはかることが大切で、一つは企業誘致について思い切った大型プロジェクトの取り組みに踏み切らねばなりません。いま伊万里湾は

進歩についてゆくことはできません。

観光にしても既成の観光資源のみに把われていては遅れをとるばかりで、観念を転換すればどこにでも観光資源はあり、これからはそのような資源の開発に取り組むことが必要で、その他商工業の発展

農業の振興においても、新たな観点からの見直しによって新分野の画期的展開を計りたいと思ひます。

私は今年、つくる施設に独特のアイデアを打ち出し、行う行事に伊万里を盛り上げてゆく考えです。そして

それそれぞれの地域でエネルギーの分担を始めていますが、伊万里市もその一つを分担する決意が必要で、さもないと周辺の富裕市町村の中で陥没しかねません。いたずらに既成の観念で是非を論ずるのではなく、科学的解明によって観念の前進を計らねば世の中のありませぬか。

じように減税もそれがよいと知ったら何も来年を待つ必要はないと宋国の大官にいましめるところがありますが、この孟子の教えを逆に言えば増税は一年でも先に延ばすのが君子の善政で少くとも西年には増税をすべきでないと思ひます。昔まつりごとをしていたところを朝廷といったのは朝廷の執務がまだ夜が明けない頃から始まったからで、昔の大官の新妻は「鶏既に鳴けり。朝既に盈ちたらん」鶏も鳴いたから朝廷も役人が皆出勤しているでしょう。早く起きて朝廷に出て貰わないと私のために貴方が遅れたと誤解されますといつて夫を励ましたというので、「鶏鳴の助」という諺になっていますが今は東京で本省の高官に会おうとすれば十時半以降にならないと無理で、しかも現代人は時差出勤など発明して、その時差も遅く出る方に焦点を合わせています。早起きは三文の徳とも言います。今年も西年に因んで一つ早起きから身のまわりの習慣を見直したらどうかと思ひます。

(竹)

成人おめでとう

社会へ旅立つ若者たち

1月15日は「成人の日」。今年は739人の方が晴れやかに成人式を迎えます。おとなになったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年の社会への「門出」を祝い励ましましょう。

成人式は市民会館で10時から行います。

1月15日は成人の日

明日へはばたけ

前田徳男さん
(南波多町大川原)

私も、もう20歳になったのか?! 私も、もう大人の仲間入り



の年になったのか?!
まだ、精神面は子供の様なのに...
20歳という

言葉は、自分の心にズシンと責任感を、感じさせる。酒、煙草は、のんでもいいだろうけど、今日から20代なんだ、自分の将来を、もう少しは考えて生きていかなければならないと思います。そりゃーこれから先楽しい事、苦しい事、悲しい事いろんな壁に出会うだろう。でもそれを乗り越えていかなければ

ばならない。これからは社会生活のルールを守り自分の道を力強く歩いていきたいと思います。

嶋田のり子さん
(大川内町福野)

いざ、成人!! そう呼ばれる日... 1月15日。私の人生の第二のスタートライン。これからどんなことを経験し、学んで行くのでしょうか。不安です。けれど今までとは違って一人の社会人として見られる時いろいろな面で戸惑いを感じることもあると思いますが、人間として責任ある行動がとれるように頑張りたいと思います。そしてこれからの自



教育委員長
田尻徳磨

はたち 20歳のころ

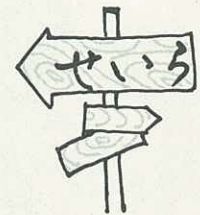
昭和29年、学生生活をエンジョイしていたころ。日々醸造実習に明け暮れ、出来た銘酒? を飲んで友人と街に繰り出したり、夜を徹して将来の夢等を語り、又議論が高じ取り組み合いを演じたことも思い出します。

このような友ほど、今も尚、深い友情を保っています。

それらの友を各地に訪ねることも楽しみなものです。自分を理解し、忠告してくれる多くの友は、私の大いなる宝です。

分の道を、あわてず急がず一歩一歩踏みしめて「生きているんだ」という実感が湧くような悔いのない人生をおくりたいと思っています。

S56.1



「せいらい」を愛読下さる皆さん、あけましておめでとうございます。

今年(昭和56年)は十千十二支でいえ

ばカノト・トリ(辛酉)の年で「金鶏晩を告げる」ユイマリの夜明けの年にしたいと思えます。

私は毎朝五時に起きて庭で天と地を拝して伊万里市の安泰と繁栄を祈っています。昔は夜が白みかけると一番鶏の声に合わせて次々にさわやかな鶏鳴が聞こえたものです。ところが今はビクビクするような自動車の騒音に変わり、七時になつて漸くミュージックサインレンが朝の時を知らせてくれます。

現代は文明の過剰で人間の自然的能力も退化しつつありますが、先ず身のまわりから時を告げる鶏の声を昔を取戻したいものです。

鶏の話を書いていたら孟子に盗鶏が悪いと知ったら直ちにとめるのが道で、同

下排水路整備など7億1137万円補正

第4回 定例市議会

第4回定例市議会は、12月10日から23日まで開かれ、昭和55年度一般会計や特別会計の補正予算をはじめ、伊万里市文化振興基金の設置など議案29件を審議可決しました。

一般会計135億6943万円

昭和55年度一般会計に、7億1,137万円を追加し、予算総額は、135億6,943万円になりました。

今回の補正は、公共事業などの認承決定による事業費や、補助金の追加並びに下排水路整備事業費、災害復旧工事に要する経費および職員の給与改定に要する経費など一般経費のうち緊急を要する経費について補正を行ったものです。

被害農作物対策事業に補助

異常気象および集中豪雨などにおける被災農家の経営安定をはかるため、水稲、転作大豆の緊急防除、みかんの特別防除、イチゴ苗の緊急確保に要した経

費の一部を助成するための天災による被害農作物対策事業費補助金に1,460万円を追加。水田利用再編対策の特別事業および推進事業の補助金に1,503万円を追加しました。

中小企業貸付期間を1か年延長

景気不振などに関連して市内の中小企業に対し、更に貸付期間を1か年延長し経営の安定をはかるため、特定不況地域指定に係る伊万里市中小企業振興資金利子補給金30万円を追加し、また、伊万里市商店街高度化事業に対する優遇措置期間を1か年延長して、商店街の整備と経



営の近代化を奨励するための補助金228万円を追加しました。

府招～藤川内線など舗装

市民の要望が特に多い市道補修資材や急傾斜地の舗装のための生コン購入費などに1,500万円を、府招～藤川内線の舗装工事などに1,085万円を追加。松島都市下水路の事業費認承増により工事費2,295万円、都市下排水路整備事業に2,500万円を追加しました。

文化振興基金を設置



▲文化振興にと100万円を寄付する山元七次さん

市文化施設の整備をはかる資金を積み立てるため、基金を設ける「資金の積立てに関する基金条例」の一部を改正する条例制定が行われ、新たに伊万里市文化振興基金が

設置されました。

これは、二里町八谷棚の山元七次さん（59歳＝病院経営）が市文化の向上を願い、病院改築祝いとして寄付された100万円をもとに設けたものです。

同基金は、寄付金や市の予算並びに基金の運用から生ずる収益を加えて毎年積み立てていき文化施設の整備に備えるものです。

化学消防車購入費に608万円を寄付

市内の88人が贈る

化学消防車整備促進期成会、(池永栄二会長=88人)から化学消防ポンプ自動車購入資金の一部として市に608万2,000円の寄付がありました。

同期成会は市内の石油・ガス販売会社や大口の貯蔵、消費をしている会社などで作っているもので、年々増える油類の危険物取扱量や、貯蔵タンクの大規模化に伴い、万一事故が発生し

た場合の消防力強化を図るうえから高性能の化学消防車配備を促進する目的で発足しました。今回の寄付で今年度中に化学消防車が配備される予定です。

あすの暮らしをみつめよう あなたとわたしの生活展

市と消費者グループ協議会では、市民の皆さんといっしょにこれからの暮らしを考えてみたいと次のとおり生活展を開催します。おさそい合わせのうえ、ぜひお出かけください。

- ▲期 日 2月6日～8日
- ▲時 間 午前10時開催
- ▲場 所 玉屋4階特設会場

〔主な内容〕
・洗剤を考えるコーナー ・省資源コーナー ・賢い消費者コーナーなど。

'81年新春特別番組

1時間にわたり「伊万里」を紹介

新春1月3日、午後1時から1時間にわたって、サガテレビで「伊万里～伝統と未来に向かって」というタイトルの番組が放送されます。

これは、1981年の年頭を飾り市長と市民の懇談を交えて伊万里市の産業や観光、歴史、民俗などを全県下に紹介するもので古い文化と伝統を守りつつ、新しい時代に向かって大きく飛躍しようとする「伊万里」の姿が

中島杯ロードレース

1月15日 開催

市陸上競技協会主催による第16回中島杯ロードレースが1月15日、成人の日に行われます。

今年は駅通り商店街の近代化事業完成を記念し、駅通り商店街からスタートします。

スタート時間は中学の部、女子の部が11時、一般、ジュニアの部が12時となっていますので沿道でのご声援をお願いします。

1月の市民会館行事予定

- ・毎週金曜日 9時～15時 運転免許更新時講習会
- ・4日(日) 9時～17時 名村造船従業員採用試験
- ・15日(木) 9時～17時 昭和56年度成人式
- ・25日(日) 9時～17時 声伸会音楽発表会
- ・31日(土) 13時～17時 教育講演会(佐教連)



▲寄付金を市長に手渡し池永会長

新春読書感想文コンクール 作品募集

県立図書館などの主催による第16回新春読書感想文コンクールの作品募集が行われます。

資格は県内小・中・高校生、青少年、一般成人で小学校3年以下は原稿用紙3枚以内、その他は5枚以内となっています。

内容や対象となる本は自由ですが、小学生・中学生については別に課題図書もあります。

- ▲締切 1月31日(土)
- ▲送り先 佐賀県立図書館奉仕課(〒840佐賀市城内2丁目)
- ※学校については別に締め切り日が定められますので詳細は学校にお尋ねください。



▲新春番組の録画撮り



吉田定弘さん



池田誠子さん



重松清太郎さん



松尾留美子さん

明日の伊万里を創ろう——と、愛LOVEいまり運動を展開しています。これはふるさと愛の再確認を出発点に、自分たちの町は自分たちの手で築こうとする運動です。ふるさとを語る「愛LOVEいまり」をテーマに広報座談会を開きました。

運動月間を設ける

吉田定弘さん(相生町)

伊万里青年会議所では愛LOVEいまり運動の輪を広げるために運動月間を11月に設け、心の運動と実践活動を進める計画です。

市民一人ひとりが身体で運動を実践するために、市の観光であるトントントンやフルーツ、カブトガニのネクタイピンを陶器で作ってはと思っています。

ふるさとを伝える

池田誠子さん(大川町)

今の子供たちは創造することに欠けているので、ふるさとを伝えるの中から創造することをおしえていきたい。一人ひとりがふるさとを大切に作る気持ちを持つ努力が必要なのではないでしょうか。

ありがとうございます。どうぞの言葉を今一度広げていきたい。

知ることが第1歩

重松清太郎さん(東新町)

幼稚園、小・中・高校、成人サークルなどの各段階が理解できる伊万里の資料を作り、勉強される体制づくりをする必要があります。伊万里を知ることが第1歩です。

愛LOVEいまりの旗を作ってあらゆるところで活用し、いつも目にふれるようにしてほしい。

若者が残れる場を

松尾留美子さん(波多津町)

働く場所が少ないので、若者が残れる場を作っていただきたい。

周辺部にも目を向け、豊かな自然を利用した市民憩いの場を作っていただけたらと思います。

伊万里はこれだというものを是非一つは作るべきだと思います。

伊万里湾に橋を

原田好道さん(山代町)

現在ある企業を育て、将来性のある企業誘致を。老人の人的活用や特別養護老人ホームを設置していただきたい。

楠久から対岸に橋をかけてほしい。休暇センターを含めた観光立体化を市単独で立案し、観光開発をしていただきたいと思っています。

若者が競うまちづくり

満江洋介さん(瀬戸町)

—伊万里に自慢できるものの中に体力づくり日本一がある。腰

岳、青螺一帯をスポーツ公園化して日本一のスポーツ公園とし、若者が競うまち伊万里にしたらよいと思う。

昔話、民話をまとめたふるさとの本を作してほしい。

広報座談会

あなた

愛LOVE



西九州ルートの開発

佐志保子さん(南波多町)

地域にあった特性を生かしPRを、そのためには焼き物の発祥にふさわしい土蔵づくりの保存など古いものを残してもらいたい。

ありがとうございます。どうぞ。の三つの言葉が生活からかけはなれてきたので再度の徹底を。

西九州観光ルートの開発により数多くの企業誘致をして、農工産業を拡大してほしい。



満江洋介さん



佐志保子さん



原田好道さん



松瀬フヂさん



考える

キャンペーン
シリーズNo.28

いまりを語る

伊万里の特色を生かす

伊万里市長 竹内通教

地方の時代は外に期待することではなく、自身の特色を見出し、自分で自分を作りあげることです。伊万里の特色づくりを進めるには、ふるさとを十分に知り特色を見



い出していくことが大切で「愛LOVEいまり」はふるさとを知り、特色ある伊万里市づくりにふさわしい言葉です。私はこれをキャッチフレーズとしていきたい。

なぜなら、伊万里を愛するその愛の力が伊万里を本当に知ることになり、伊万里を育てていくことになるからです。

現在、マスタープランを改定中でいろんな面にアイデアを出し、伊万里の特色を生かしていきたい。

皆さんとふるさとを見直す、「愛LOVEいまり」を育てましょう。



坂本一幸さん



古川アヤさん

ふるさとを知る学習

松瀬フヂさん(二里町)

ふるさとの歴史を知ることがふるさとをこよなく愛する人の輪を広げると思います。子供は子供なりにふるさとを知る学習を深め、特に若い人たちにふるさとを理解してもらうことが愛LOVEいまりに通じることだと思います。

きれいな町づくりの徹底

坂本一幸さん(黒川町)

住みよい社会を築くために、それぞれの団体が活発な活動をしています。横の連絡をとり話し合うことが必要だと思う。

道路沿いなどにはゴミが多いので、きれいな町づくりを徹底してやったらよいと思います。

歴史資料を集めた施設を

古川アヤさん(松浦町)

みんなが伊万里をよく知って伊万里が持っている本当の真価を理解することが、伊万里を愛することになると思います。

すばらしい歴史的資料を集め伊万里津の歴史公園や鍋島焼の蕃窯資料館を作っていただきたい。

愛LOVEいまり運動

愛LOVEいまり運動——これは、よりよく伊万里を愛する心の運動です。

この運動は、ふるさと愛の再確認を出発点に、伊万里市の未来を市民サイドから考え、実践していこうとするものです。心豊かなふるさとを確立しようと青年会議所の呼びかけで各団体が集まり「愛LOVEいまり連絡協議会」を結成し、愛LOVEいまりをキャッチフレーズに「自分たちの住む町は自分たちの手で築こう」と運動を展開しています。

この運動を盛り上げるために、親・子・孫の三代が両手を広げて大きく伸びる姿を表わしたシンボルマーク(上図)を作成し、小学生のランドセルやマイカー、商店のウィンドー、公共施設などに張り、市民の協力を呼びかけています。

「愛LOVEいまり」はこれからの伊万里市づくりのキャッチフレーズです。市民の皆さんと手をつないで住みよい伊万里を築きましょう。

編集後記

キャンペーンシリーズ「あなたと考える、も、今回で28回を迎えました。

このページは、市政について市民の方に登場していただき、皆さんと一緒に考えてみようと思案したものです。

今年も市民の皆さんに親しまれる広報づくりに励みますのでよろしくご支援ください。

ありがとう あなたの善意

心あたたまる町の話

～その24～

銀婚記念に200万円を寄付

身障者の東山代町 草野さん夫婦

身障者夫婦が結婚25年の記念にと、ヘソクリ200万円を市社会福祉協議会を通じて日本赤十字社に寄付されました。

この方は、東山代町脇野の農業、草野良雄さん（63歳）と秀子さん（57歳）の夫婦で、良雄さんは太平洋戦争で背中と右腕を負傷し4級の身障者、秀さんは両耳が遠く2級身障者です。二人は25年間、円満な家庭を営んできたのも社会の理解があったからだ、秀子さんの提案でコツコツとためてきた預金を投げ出されたものです。

草野さん夫婦は「銀婚式を迎えた記念に同じような境遇の人に役立ててもらおうと決心しました。使ってもすぐなくなるだ

ろうし私たち25年の歩みの記念になれば」と話しておられました。

お二人の心あたたまる善意に関係者はたいへん喜んでます。



▲200万円を寄付する草野さん夫婦

スポーツ振興に毎月寄金

5年間続ける新天町の中島さん

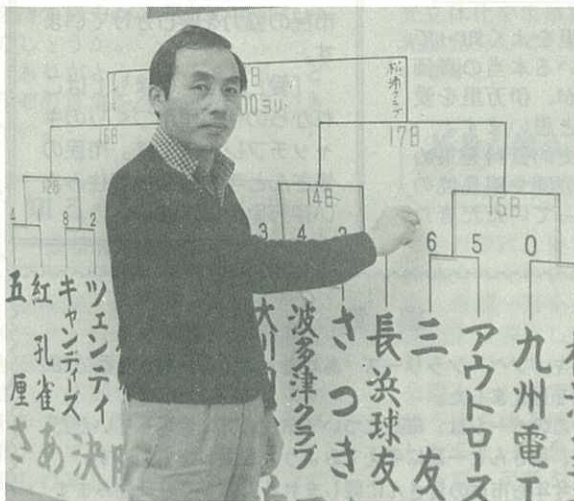
スポーツの普及・振興に役立ててと5年間、ポケットマネーで毎月1万円を寄付している方がおられます。

催年を記念して発足したもので市民の皆さんから贈られる寄付金や香典返しなどを積立て、市体育（スポーツ）の普及・振興の経費に充てられており、積立金は342万円に達しています。

中島さんは同基金の発足時より毎月小使いの中から1万円を寄付し続け、12月末で56万円が届けられています。このほか、スポーツ情報提供の看板を自費で建てられ、市民の皆さんにスポーツ情報を知らせるなど、心あたたまる善行をされています。中島さんは「少しでも社会のお役に立てばと始めました。これからも出来るかぎり続けていきたいと思っています」と話しておられました。

この方は、新天町でスポーツ店を営む中島絃一さん（41歳）で、伊万里市体育振興奨励基金に昭和51年5月から毎月寄付を届けておられるものです。

この基金は市体育協会が佐賀国体の開



▲スポーツ情報看板に情報を書く中島さん

いま伊万里で



▲生きがいと創造の家が完成(11/1)
老後の生活を生きがいと潤いのあるものにするため、老人センター裏に生きがいと創造の家が完成しました。



▲波多津中に社会体育館が完成
中学校の体育館と町民の体位向上を図るための社会体育館を兼ねた屋内運動場が完成しました。



▲交通安全パレードで事故撲滅を呼びかけ(11/5)
各町の交通対策協議会や事業所などが参加して目抜き通りを行進しました。アイデアプラカードの審査では1位消防署、2位二里町交対協、3位福祉事務所となり春の交対協議会で表彰されます。



▲知事と県民の対話集会を開催(11/1)
住民の声を県政に反映させるため、知事と県民の対話集会が市農協会館で行われました。



二里町で珍しいさる相撲(12/13)
二里町中里地区に伝わる「さる相撲」は12年に1回、さる年に行われるもので、地区民総出のにぎわいとなりました。



▲市内一周駅伝大会で健脚を競う
12月7日、恒例の第27回市内一周駅伝大会が行われ、参加11チームが10区間、71.1kmで健脚を競い松浦町が連続7回目の優勝を飾りました。

新しい制度で農地の有効利用を

貸し手農家に奨励金を交付

農地の高度化利用を増進し、豊かな村づくり、人づくりを推進していくよう国の新しい制度ができました。

これにより、地域の農家での話し合いで農地の貸し借りが便利になり、農用地の確保、借り手農家の担い手育成、経営規模の安定を図ることができます。

〈面倒な手続きなしに農地の貸し借りができます〉

後継者がいなかったり、経営規模が小さいなどの理由で農地を貸してもよい人、あるいは、経営規模を拡大し、安定を図るため農地を借りたい人はこれまでの面倒な手続きなしに、安心して農地の貸し借りができるようになりました。

〈貸出奨励金が支払われます〉

新制度の利用により、貸し手農家は貸付料とは別に、10ア-

ルあたり契約期間が3～5年の場合1万円、裏作などの「期間貸付」の場合5,000円、6年以上の場合はそれぞれ倍額の奨励金が契約当初に交付されます。

今回の受け付けは1月から2月末日までとなっていますので地区推進員（農業委員）にお尋ねください。

詳しくは市農林水産課（☎③2111、内線372）または農業委員会（内線361）へ。



消防出初め式は1月11日

伊万里市消防団出初め式が次のとおり行われます。

- ▲日時 1月11日 8時30分
- ▲場所 消防本部訓練場

労住富士見回地

入居者募集

県労働者住宅生協は立花町富士町の分譲住宅入居者を先着順に受け付けています。

- ▲募集戸数 8戸
- ▲建物 木造2階建、27坪（敷地95坪）

▲予定価格 平均1,450万円
※公庫融資、厚生年金融資などの利用ができます。

詳細については労金伊万里支店（☎②6111）へ。

市の人口

12月1日現在

総人口	61,299人	(+27)
男	29,085人	(+12)
女	32,214人	(+15)
世帯数	16,734	(+26)
市民課調べ、()は前月比		



11月

貿易実績は12億7,406万円
で前月比1億3,763万円の増。

【輸出】 実績なし

【輸入】 12億7,406万円

【船舶の入港】 12隻

(日本船1、外国船11隻)

【寄港地上陸許可者数】

262人(フィリピン136人
韓国46人、中国41人、インドネシア34人、英国5人)

松浦火力発電所

環境影響調査書を縦覧

長崎県松浦市に建設が予定されている火力発電所の環境影響調査が終了し、調査書が一般に縦覧されます。

発電所の建設に際して、電気事業者は事前に環境影響調査を行い、調査結果を建設する市町村及び隣接する市町村で縦覧することが義務付けられています。

伊万里市では次の2か所で1月6日から26日まで行われます。

〔市役所市民ロビー〕

・時間 8時30分～17時

〔九州電力伊万里営業所〕

・時間 9時～17時

地区別飲酒運転検挙者数

(昭和55.11.30現在 伊万里警察署調)

地区名	1月～10月	11月	累計
伊万里	5	0	5
大坪	5	0	5
牧島	10	4	14
立花	7	2	9
大川内	7	0	7
黒川	8	0	8
波多津	4	0	4
南波多	5	0	5
大川	4	0	4
松浦	5	0	5
二里	7	0	7
東山代	6	2	8
山代	9	6	15
市外	27	6	33
計	109	20	129

市職員(技能労務職・調理師)を募集

申込受付 1月5日～17日

市職員(技能労務職・調理師)を次のとおり募集します。(告示は1月5日)

▲試験区分と採用予定人員

- ・技能労務職=男子1名
- ・調理師=女子1名

▲資格

昭和30年4月2日から38年4月1日までに生まれた方。ただし、調理師は昭和25年4月2日から38年4月1日までに生まれた方。(他に、居住地

制限などがあります)

▲受付 1月5日～1月17日

▲申込書・試験案内の請求

申込書の交付は告示後、市役所総務課職員係(〒848伊万里市立花台1-1-1、☎③2111内線411、418)で直接行います。

(郵送で請求の場合は封筒の表に「採用試験申込書請求」と朱書き、60円切手をはったあて先明記の返信用封筒を同封のこと)

(はしか) 麻しんの予防接種

麻しん(はしか)の定期予防接種を次のとおり実施します。

▲対象児 昭和53年7月1日から54年6月30日までの出生児

▲接種できる幼児

- ①今までに、麻しんの予防接種を受けていない幼児
- ②今までに、自然麻しんにかかっていない幼児で、接種を希望される場合

▲接種期日

1月16日から2月5日まで

※詳細は市保健センター(☎③2111、内線281)へ。

次の方からご寄付をいただきました。厚くお礼申しあげます。

社会福祉事業費へ

◆香典返しを寄付

- ・吉富敬次(亡義母サノ 立花台三丁目)
- ・山ノ井萬治(亡妻ハル 唐津市西唐津)
- ・山本アサカ(亡長男守昭 山代町立岩)
- ・松本三一(亡父与八 大川町宿)
- ・加納艶子(亡父武六 東山代町上大久保)
- ・松原欣一(亡父金六 南波多町井手野)
- ・熊田馨(亡母キク 立町)
- ・立川友二(亡母チヨ 木須東)
- ・武藤久子(亡夫正義 立花台二丁目)
- ・杉本禎蔵(亡父義晴 大川町井手口)
- ・金子茂(亡母セノ 波多津町内野)
- ・前田信広(亡祖父栄吉 二里町西八)

ありがとう



ご支援ありがとうございました

- ・五〇〇円 溝上義隆(松浦町下分)
- ・五千元 牧野敏昭(東京都)
- ・老万円 土井正次(栄町 期限満了の拾得金を)
- ・教育振興奨励基金へ
- ・松原欣一(亡父金六 南波多町井手野)
- ・立川友二(亡母チヨ 木須東)
- ・大坪英雄(亡母トク 東山代町長浜)
- ・前川孟(亡母キチ 大川内町市村 大川内小に指定)
- ・文化振興基金へ
- ・一〇〇万円 山元七次(二里町西八 文化振興のため)
- ・体育振興奨励基金へ
- ・老万円 中島絃一(新天町六五四) 消防施設整備資金へ
- ・松原欣一(亡父金六 南波多町井手野)
- ・六〇八万五千円化学消防車整備促進期成会(化学消防ポンプ自動車購入費として 明るい町づくり推進資金へ)

【大坪公民館】

・式万円 齊藤忠明(新天町 見舞返し)

【大川内公民館】

・前川孟(亡母キチ 大川内町市村)

【黒川公民館】

・横田俊男(亡二男満成 黒川町牟田)

【波多津公民館】

・市丸武司(亡父寶輔 波多津町筒井)

【南波多公民館】

・松原欣一(亡父金六 南波多町井手野)

・今坂金一郎(亡父千之 南波多町古川)

【大川公民館】

・田代藤夫(亡父安雄 大川町立川)

【松浦公民館】

・海付智賀良(亡母シノ 松浦町久良木)

・真坂孟(亡父定 松浦町藤川内)

【二里公民館】

・前田信広(亡祖父栄吉 二里町西八)

・松尾史郎(亡父勇七 二里町東八)

・市立図書館図書充実へ

・図書券老万円 竹内聿子(松島町)

◆篤志寄付
千五〇〇円 横田好雄(東新町 期限満了の拾得金を)

こどものページ

ふるさとを見直そう

伊万里は活気に満ちた都市



「やきもの」とフルーツのさと
伊万里、は、人口6万1,000人
面積254・56^{じきはっしやう}km²で、磁器発祥の
地として「やきもの」、日本三
大ケンカ祭り「伊万里トンテン
トン」、加えてなしやぶどう・
みかんなどフルーツの里で有名
です。

波静かな伊万里湾は、古くは
陶器の積出港として栄え、江戸
時代は和歌山、新潟、福井など
の国内各地はもとより、東南ア
ジアや朝鮮（韓国）など国外に

も積み出されてきました。

その後、石炭産業で栄えた伊
万里もエネルギー革命で衰退し
ましたが、天然の良港は合板企
業や輸出むけの洋食器専門工場
近代的な設備を備えた造船企業
の進出で、昭和42年に開港して
から貿易港として船の入出も年
々増えてきています。

伊万里市は、北九州市を起点
に長崎市までの西九州観光ル
ートの中間地点で、玄海国立公園
の桜の名所「高尾山公園」や、

高原いっばいにつつじのじゅう
たんを敷きつめたような「竹の
古場公園」、草スキーと展望が
すばらしい「大平山公園」など
があります。また大川内山「秘
窯の里」は、300年の歴史を誇る
伊万里焼の窯元が軒を並べ、訪
れる人の心をなごませています。

このように伊万里市は、古い
伝統の中に近代的な開発を進め
ている活気に満ちた都市です。
ふるさとを見直し育てましょう。

伊万里市の観光

